

R7イオだより 第11号

# スペース・イオかくのだて

令和8年3月18日 発行

例年より早い雪解けに、確かな春の訪れを感じます。

今年度は8名の生徒を迎え、勉強やスポーツ、ゲームなどあらゆることに全力投球した1年でした。この1年間の頑張りを糧に、それぞれが次のステージで、自分らしさを大事にしながら頑張ってくれと信じています。

保護者の皆様、日々のお弁当づくりや送迎などありがとうございました。また、イオの運営に関して御理解と御協力をいただきありがとうございました。【イオ職員一同】

修了式の生徒代表挨拶を掲載します。

## 人と関わる楽しさ

冬の厳しい寒さも和らぎ、春の訪れを感じる季節となりました。私たち三年生はもうすぐ高校生になります。イオでの時間はあっという間でしたが、振り返ればとても大切な時間でした。

二年生になり、神代中から角館中に転校してきた私は、大人数が苦手なのと人間関係が上手くいかず、学校を休むようになりました。その春に担任の先生にすすめられて、イオを体験してみることにしました。最初は不安でしたが、顔見知りの友達がいて安心しました。

イオでの一年間は様々な活動をしました。春は自転車に乗って桜木内川の土手や武家屋敷の桜を観に行ったり、桜まつりに行ってイカ焼きやポテトを食べたりしました。夏は昭和レトロ満載のクリームソーダを作りました。舌が緑色になって、「べー」とやって笑い合いました。秋は定時制の行事の田沢湖畔清掃に参加しました。姉と一緒に食べたお昼ご飯も美味しかったし、田沢湖一周のバスからの眺めも綺麗でした。ミニかまくら作りでは、秋田の冬を感じることができました。調理実習は五回やりました。私の誕生日のリクエストで、『チョコフォンデュ』と『ピザ』にしてもらいました。みんなの気持ちとあの味が忘れられません。リンゴの皮むき体験、秋刀魚の骨残し食べ比べ大会も楽しかったです。秋刀魚ナンバーワンは、多分私でしたね。

こうしたたくさんの活動の中で、一番心に残っているのが『校外学習』です。今年は秋田市に行きました。秋田駅東口のアルヴェにある科学館で、初めてドローンを飛ばしました。ゲームコントローラーと似ていて、上手く操作できました。サイゼリアでご飯の後、RさんとHさんとプリクラを撮りました。あまりの楽しさに時間を忘れてバス時間ギリギリでした。そのプリクラは今でも私のカード手帳に大事に貼ってあります。明治文化が反映された元秋田銀行の赤レンガ郷土館も素敵でした。

毎日の学習では、苦手教科を意識して頑張りました。数学では、福田先生が優しく丁寧に教えてくれました。おかげで、正負の計算ができるようになりました。理科では、内藤先生が図解して分かりやすく説明してくれました。社会は公民を中心に、今野先生の世間話と前の時間の復習を取り入れて進めました。英語は、伊勢谷先生が私のレベルに合わせて、プリントを準備して教え

てくれました。受験に向けて五教科のテストに向かうことができるようになったことも、私の確かな成長です。

午後のイオタイムは、伝統のUNOを始め、七並べ、ババ抜き、ブロックス。そしてスリル満点のドミノ、ジェンガ、人体模型もやりました。運動は恒例のバドミントン。相手のKさんがどんどん強くなってきて、スマッシュを決めるようになり、私も負けずに返しました。最長ラリーは百回以上で五分間も続きました。バスケットのスリーポイント競争、卓球、サッカー、そしてグラウンドでソフトボール。イチョウの木の下でやったモルックも思い出です。そうそう、デザインの得意なRさんが仲間に入ってイラストの時間も生まれました。イオの看板を新しく作り、玄関で私たちを毎日迎える『顔』となっています。

ゲストティーチャーで来てくださった加賀谷教頭先生の書道と、山崎先生の日本画も楽しかったです。書道では、今年目標を色紙に書きました。私は迷わず【貯金】と書きました。日本画では岩絵の具という画材を使って、海のクラゲをイメージして描きました。指でなでながら色合いの強弱をつける初めての体験でした。進藤先生から教わった空手では、上段回し蹴りでKさんをふらつかせてしまいました。ごめんなさい。

濱田先生のSSTでは、最近あったいい出来事を教え合ったり、苦手な事への初めの一步の踏み出し方を考えたりと、ポジティブになれるヒントをもらいました。時には、熊と出会った時どうする？という何とも難しいお題もありました。伊勢谷先生のエンカウンターは、すごろくゲームが印象に残っています。『スクワット五回』のマスに何度も止まり、みんなで「ガーガー」言いながらやったこともありました。でも自然と笑みがこぼれました。

クリスマス発表会も心に残っています。今年は『歌』を発表しようと決めました。Kさんが大きな声で積極的に練習して刺激を受けました。発表順が決まらず困っていたとき、Hさんが「では私が一番バッターになります。」と言ってくれて、内心とても助かりました。Hさんはいつでもムードメーカーで、イオを明るくしてくれました。みんなで演奏したハンドベルも綺麗なハーモニーでした。体調を崩して参加できなかったRさんに届くように心を込めました。来てくださったお客さんと一緒にアンコール曲で盛り上がり、最高のクリスマス会になりました。

ここイオは、人と関わることの楽しさを教えてくれました。今までは、分からないことを誰にも聞けずに一人で悩んでいましたが、イオに来てからは友達の大切さに気付き、人を頼るようになりました。そして、積極的に発言できるようになったと思います。家以外で一番自分らしさを出せる場所であると心から言えます。

私たち三年生は卒業します。来年も『人と関わる楽しさ』を感じながら、さらに楽しいイオにしていってほしいと思います。

今まで本当にありがとうございました。

私は、イオのみんなが大好きです。

令和七年度 修了生代表

